



本社・製缶工場

- 本社所在地：長崎県大村市
- 事業概要：産業機械・インフラ製品・
輸送製品向け機械加工事業および製缶事業
- 常時使用する従業員：54名
(2025年7月時点)
- 現在の売上高：10億円
(2025年6月期)
- 法人番号：6310001008674
- Web：https://iwayoshisanki.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
今堀 育樹

産業機械・インフラ・輸送分野における『縁の下の力持ち』

当社は1949年創業以来、「柔軟・迅速・正確」を基本姿勢に、産業機械・インフラ・輸送分野で高精度・高信頼のモノづくりを追求してきました。国内外の産業構造がグローバル化・デジタル化・脱炭素化により変化する中、複数の事業の柱を確立し、持続的な経営基盤を築きながら、売上高100億円の達成を目指します。その実現に向け、設備投資・技術開発・人材確保・海外展開を加速し、「地域ものづくりを支える中核企業」として新たな成長ステージに挑戦してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

現状約10億円の売上規模から、2030年に売上100億円を達成することを目標とします。そのために既存の製缶・溶接および機械加工の収益拡大に加え、大型装置モジュール事業や海外向け部品輸出を新たな成長軸として構築します。内部では生産性向上・人材強化・IT化を進める一方、外部環境の競争激化・物流リスク等を克服し、持続的な成長基盤の確立を図ります。

課題

- ・人員・管理体制・設備規模が不足しており、増強と教育が必須
- ・多品種少量生産に強い一方、自動化・海外展開・量産対応への生産能力が不足
- ・DX化・自動化が遅れており、生産性・原価管理・品質の見える化が不十分
- ・価格競争・原材料高騰・為替リスクなど外部変動に対応できる事業ポートフォリオが不足

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・産業機械・インフラ・輸送分野の部品供給ノウハウを活かし、「脱炭素関連機器」「再エネ装置部品」「次世代輸送機関部品」など高成長分野へ参入
- ・多品種少量生産・一気通貫生産体制の強みを活かし、製缶+機械加工+溶接+組立による大型装置のユニット化・モジュール化事業に進出
- ・海外展開・輸出事業を確立し、売上成長の新たな柱を形成

実施体制

- ・人員を増強し、製造・営業・品質・技術の専任チームを構築
- ・特に輸出・海外展開については英語や中国語に対応可能な人員の早期獲得と海外規格対応の強化
- ・大型製缶ライン・門形マシニング・5軸・複合加工機などの先端設備の導入で高付加価値化を推進し、持続成長基盤を確立
- ・自動化/量産対応への準備が遅れているため、自動化設備の導入を早期に実施し、生産性を向上
- ・グループ体制（大阪/長崎）を活かし、国内・海外から多様な案件の取り込みを図る